

第二次署名運動協力へのお願い…………… 許すな、日本の戦争準備! 丹後半島の経ヶ岬に米軍基地(Xバンドレーダー)建設反対!



経ヶ岬に配備予定のXバンドレーダー



丹後松島

今年の2月22日、日米両政府は、京都府の丹後半島・経ヶ岬の自衛隊基地を拡張してそこに近畿で初めての米軍基地(Xバンドレーダー)建設を合意したと発表しました。

この理由として「北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)からグアム米軍基地を狙うミサイル攻撃を察知し、日本のイージス艦に搭載しているSM3迎撃ミサイルで撃ち落とす」ことが目的だと言われています。このような事態はあり得ないことですが、もしあり得るとしたら打ち落とされる相手国は、発射前又は同時にミサイルでレーダー施設や艦船、基地などにも攻撃することは軍事の常識です。Xバンドレーダーの経ヶ岬への配備でグアムの米軍基地は守られるかもしれませんが、丹後の基地周辺の住民が多大な被害を受けることになります。同時に東アジアの緊張を高め、軍事強化や憲法改悪の口実に利用されます。

それだけではありません。米軍基地が配備されると沖縄で起こっているような基地被害が多発し、そこには日本国憲法は適用されず、日米安保と日米地位協定でアメリカ軍優位の治外法権がまかり通ります。また、レーダーが発する電磁波の人間や生物への影響、毎日50トンの冷却水の使用、海域及び空域半径600メートルは漁業禁止・飛行禁止区域となり、周辺住民の生活は大きな被害を被り、近畿で暮らす私たちにも被害が及びます。

丹後の人々と自然は、京都や近畿に住む私たちにとって幼い頃のキャンプや海水浴、魚や野菜、丹後ちりめん、時にはカニやアワビ・サザエを求めて行き来した楽しい思い出があり、お世話になっているところです。政府の輸出重視で農漁業が衰退し、過疎化・貧困化しています。

今回の経ヶ岬への米軍レーダー設置は、京都府が2005年策定の「丹後地域半島振興計画」で推進してきた自然との共生・循環型エコ社会の創造にも反するものです。

沖縄や岩国などで要らない米軍基地はこの京都にも要らない!と声を上げましょう。

第一次署名を終え、更に第二次署名運動を広範囲に展開し、なんとしても京都府が米軍Xバンドレーダー受け入れに反対するよう京都府民の声を結集しようではありませんか。

沖縄での基地撤去闘争と連帯しつつ、是非ともあなたのご協力と参加を呼びかけます。

「止めよう経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」緊急京都府民の会 代表 大槻 正則
署名送り先 「緊急京都府民の会」南部連絡会 連絡先 090-1156-1941

〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則 宛

要 請 書

京都府知事 山田啓二様

私たち「止めよう経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」緊急京都府民の会（代表 大槻正則）は、本年7月9日、約50人が府庁正門前に結集し、大槻正則代表を先頭に地元民及び丹後出身者など8名の代表団が貴庁に対し6507筆の署名と共に「京丹後・経ヶ岬への米軍基地（Xバンドレーダー）配備に反対する」要請行動を行いました。

「緊急京都府民の会」では、すでに6月16日、現地伊根町の浦嶋神社にて「京丹後・経ヶ岬への米軍基地（Xバンドレーダー）配備に反対する」約50人の地元民が集まり、翌17日には、京丹後市長に「受け入れ反対署名 7 0 3 1 筆と要請文」を提出しています。

今回の経ヶ岬への米軍レーダー設置は、京都府が 2005 年策定の「丹後地域半島振興計画」で推進してきた自然との共生・循環型エコ社会の創造にも反するものです。

沖繩や岩国などで要らない米軍基地はこの京都にも要らない!と思います。

丹後の人々と自然は、歴史と文化にはぐくまれ、京都や近畿に住む私たちにとって幼い頃のキャンプや海水浴、魚や野菜、丹後ちりめん、時にはカニやアワビ・サザエを求めて行き来した楽しい思い出があり、お世話になっているところです。政府の輸出重視で農漁業が衰退し、過疎化・貧困化しています。米軍基地の補助金（迷惑料）で丹後地方の方々を援助するのではなく、貴庁が進める「丹後地域半島振興計画」の更なる推進で自然との共生・循環型エコ社会の創造を実現し、丹後の再生と暮らしの再建を進めて戴きたいと要請します。

（詳しい要請趣旨は、添付の第二次署名運動へのお願いを参照して下さい。）

請願書

名 前	〒 住 所

呼びかけ団体 「止めよう経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」

緊急京都府民の会（代表 大槻正則）

署名取扱団体 「緊急京都府民の会」・南部連絡会 連絡先 090-1156-1941(大湾宗則)